

大阪医科大学学報



大学構内駐車場竣工

大学北門東側、鉄筋4階建5層
(延床面積 6,600㎡) 収容台数327台

◆目

告示について	2
法人	3
人事 (学長・採用・昇格・異動、 休職・復職・委嘱・解嘱、 退職・海外渡航) ...	3~6
表彰 (平成5年度永年(20年)勤続者表彰 大阪府知事表彰) ...	6

◆次

本学前学長・名誉教授早石修先生の 勲一等瑞宝章受賞記念祝賀会開催	6
平成5年度臨床研修医	6
平成4年度・収支決算	7
平成5年度科学研究費補助金交付内定一覧 ...	8~9
次号学報について (お知らせ)	10

告示について

昨年5月以来、本学泌尿器科学教室を巡る事件について、本学として次の通り告示が行われた。

告 示

平成4年5月に週刊誌に報道された本学泌尿器科学教室を巡る事件について、本学理事会および教授会は大学監事および教授会の調査結果に基き、以下の認識を持つに至ったので、ここに本学の意志を表明する。

同教室の医局長兼会計係を長年務めていた一講師に大学教員として、また医師としての倫理にもとる行為のあったことが判明した。透析医療を巡って世の誤解を招きかねない言動や、教室員の同講師に対する疑惑を故なしとはしない行為のあったことはきわめて残念なことであり、同講師の真摯な反省が求められる。

本学は今回の事件を契機として本年4月以降、奨学寄付金等の研究費の受入れを大学事務局へ一元化し、受入れ諸規程を完全に遵守している。また教員の関連病院等への出張についても、妥当な在り方に向けて全学的な検討を開始した。

今回の出来事を顧みるに、教室員相互の意志疎通の欠如と教室運営・管理機構の硬直化、それに由来する教室員の不満と不信感の長年の鬱積が事件発生の基礎にあったと思われる。教授および幹部教員は教室員相互の信頼関係を保ち、円満な教室運営を図ることに意を用いなければならないが、前教授時代の泌尿器科学教室ではこの配慮が十分でなかった。大学にあっては各教室の自主性と独自性は尊重されねばならないが、各教授に監督責務のあること、また学長、病院長にも適切な指導と統督が求められることを今回の事件は教えている。

想えば光輝ある歴史と伝統を誇る本学の名誉を損なう、まことに遺憾な、異常な出来事であった。多年、理事会と教授会との意志疎通が十全ではなかったことが事件発生の根底にあることを認識し、ここに本学は深く反省する。これよりは自重自戒、協調融和の上、教職員一丸となってさらに一層襟を正し、大学の正常な運営と自治の基盤の確立、本学の名誉回復に邁進するとともに、本学の発展に寄与されんことを切望するものである。本学に寄せられた世の評価と付託に応える所以である。

平成5年7月22日

大阪医科大学理事会

大阪医科大学教授会

法 人

理事就任 小野村 敏信 6. 1

人 事

学 長 退 任 松 本 秀 雄 5.31

“ 就 任 松 本 秀 雄 6. 1

採 用

看 護 婦 大森 陽子 (病院看護部) 5.16

短 時 間 小川美津子 (“) “
雇 用 職 員

技 術 員 高田 真里 (病院輸血室) 6. 1

看 護 婦 津田由美子 (病院看護部) “

看護補助員 榎崎 正明 (“) “

助 手 田中 雅也 (内科学Ⅱ) 6.16

“ 稲山 靖弘 (神経精神医学) “

短 時 間 谷口 敦子 (病 院)
雇 用 職 員 中央検査部 6.28

講 師 松井 律夫 (放射線医学) 7. 1

助 手 林 哲也 (内科学Ⅲ) “

“ 康 純 (神経精神医学) “

“ 雑賀 良典 (放射線医学) “

“ 時津 浩輔 (I C U) “

看 護 婦 宮地 淑子 (病院看護部) “

准看護婦 増本 直子 (“) “

看護補助員 小川 一子 (“) “

助 手 片山 博視 (小児科学) 7.16

看 護 婦 村上 三佳 (病院看護部) “

看護事務員 片山 文子 (“) “

短 時 間 山崎 勝枝 (“) “
雇 用 職 員

“ 湯浅 佳子 (“) “

昇格・異動

皮膚科学 草壁 秀成 (助 手) 6. 1
講 師

病院看護部 野村るり子 (看 護 婦) “
看護婦主任

病院看護部 西田 優子 (短 時 間)
看護婦 雇用職員 6.16

病院事務部 岩橋 朗 (病院事務部)
管理課 医事課 “

病院看護部 小川美津子 (短 時 間)
看護婦 雇用職員 7. 1

リハビリテー ションセンター 富永 通裕 (整形外科学)
診療教授 助教授 7.16

病態検査学 中川 俊正 (学内講師) “
講 師

休職・復職

休職を命ずる

助 手 山元 章示 (内科学Ⅲ) 6.23

復職を命ずる

看 護 婦 新出 悦子 (病院看護部) 6. 1

委嘱・解嘱

学長予定者選考規程改正委員会委員を委嘱する

助 教 授 河野 公一 (衛生学・
公衆衛生学) 4. 1

機器共同利用センター副センター長を委嘱する

教 授 島田 眞久 (解剖学Ⅱ) 4. 1

平成5年・6年度機器共同利用センター運営委員会委員を委嘱する

教 授 古谷 榮助 (化 学) 4. 1

“ 大槻 勝紀 (解剖学Ⅰ) “

助 教 授	東 克 (生 物 学)	4. 1
”	小寺 邦彦 (生 理 学 II)	”
”	植野 洋志 (医 化 学)	”
”	奥西 秀樹 (薬 理 学)	”
”	米田 博 (神 經 精 神 医 学)	”
講 師	西村保一郎 (数 学)	”
”	宮本 学 (生 理 学 I)	”
”	森松 伸一 (微 生 物 学)	”
”	磯崎 博司 (一 般 ・ 消化器外科学)	”
”	上田 陽彦 (泌 尿 器 科 学)	”
”	岡村 信介 (産 婦 人 科 学)	”
学 内 講 師	澤田 健 (病 理 学 II)	”
”	玉井 浩 (小 児 科 学)	”
”	濱田 潤 (眼 科 学)	”
”	中川 俊正 (病 態 検 査 学)	”
助 手	時松 敬明 (物 理 学)	”
”	小出 哲也 (解 剖 学 II)	”
”	浦野 透 (病 理 学 I)	”
”	渡辺 美鈴 (衛 生 学 ・ 公衆衛生学)	”
”	田村 明敬 (法 医 学)	”
”	木村 文治 (内 科 学 I)	”
”	島本 史夫 (内 科 学 II)	”
”	浮村 聡 (内 科 学 III)	”
”	澤田 吉英 (胸 部 外 科 学)	”
”	小川 竜介 (脳 神 経 外 科 学)	”
”	平賀 康彦 (麻 醉 科 学)	”
”	奥田 龍三 (整 形 外 科 学)	”
”	酒谷 省子 (皮 膚 科 学)	”
”	伊藤 尚 (耳 鼻 咽 喉 科 学)	”
”	辰 吉光 (放 射 線 医 学)	”
”	仙田 順子 (口 腔 外 科 学)	”
”	上田 晃一 (形 成 外 科 学)	”

衛生委員会委員を委嘱する

助 教 授	鈴木 廣一 (法 医 学)	6.18
課 長 補 佐	蔵本 勝彦 (病 院 事 務 部 医 事 課)	”
主 任	大槻 哲彦 (財 務 部 経 理 課)	”
技 師 長 補 佐	手塚 好博 (病 院 放 射 線 科)	”
主 任	牟禮 洋子 (病 院 看 護 部)	”

基礎医学振興委員会委員を委嘱する

教 授	千原精志郎 (心 理 学)	7. 7
”	古谷 榮助 (化 学)	”
”	大槻 勝紀 (解 剖 学 I)	”
”	島田 眞久 (解 剖 学 II)	”
”	宮崎 瑞夫 (薬 理 学)	”
”	清金 公裕 (皮 膚 科 学)	”
”	清水 章 (病 態 検 査 学)	”
”	田嶋 定夫 (形 成 外 科 学)	”

学内講師を委嘱する

助 手	森本 昌宏 (麻 醉 科 学)	7.16
-----	-----------------	------

病理学 (I) 講座担当教授選考委員会委員を委嘱する

教 授	大槻 勝紀 (解 剖 学 I)	7.21
”	島田 眞久 (解 剖 学 II)	”
”	森 浩志 (病 理 学 II)	”
”	溝井 泰彦 (法 医 学)	”
”	岡島 邦雄 (一 般 ・ 消化器外科学)	”
助 教 授	鈴木 廣一 (法 医 学)	”
”	友田 恒典 (病 態 検 査 学)	”
講 師	橋本 和明 (病 理 学 I)	”
”	山本 雄三 (耳 鼻 咽 喉 科 学)	”
助 手	安積 正作 (病 理 学 I)	”
”	三好 博文 (内 科 学 II)	”

退職

助手	鶴長 建充 (産婦人科学)	5.31
〃	橋村 直隆 (内科学Ⅱ)	6.15
事務員	大野 真実 (病院薬剤部 薬品管理課)	6.26
講師	田窪 孝行 (病態検査学)	6.30
学内講師	三木 正之 (小児科学)	〃
助手	渡邊 博且 (衛生学・ 公衆衛生学)	〃
〃	小出 尚志 (内科学Ⅲ)	〃
〃	東 真一郎 (神経精神医学)	〃
〃	石丸 徹郎 (放射線医学)	〃
〃	堀本 仁士 (I C U)	〃
事務員	濱田 恵 (病院輸血室)	〃
技術員	尾崎 佳代 (病院 中央検査部)	〃
看護婦長	安藤 清子 (病院看護部)	〃
看護婦	酒井 利歌 (〃)	〃
〃	寺崎 富子 (〃)	〃
〃	中村智恵美 (〃)	〃
〃	清水 渙子 (〃)	〃
〃	元栄 郁代 (〃)	〃
〃	興呂木さゆり (〃)	〃
〃	園田 宴子 (〃)	〃
〃	小川内美鈴 (〃)	〃
〃	胡内 紀子 (〃)	〃
〃	辻田 久実 (〃)	〃
〃	大橋 由佳 (〃)	〃
〃	西森 美和 (〃)	〃
〃	片岡 薫子 (〃)	〃
〃	古田 由香 (〃)	〃
看護事務員	小野原千恵子 (〃)	〃
講師	濱田 勝生 (泌尿器科学)	7. 7
助手	山本 典子 (解剖学Ⅰ)	7.15

海外渡航

留学

山元 章示 (内科学Ⅲ助手)
アメリカ (テキサス州立大学)
H.5. 6. 23 ~ H. 6. 3. 31

出張

太田 富雄 (脳神経外科学教授) 5.16 ~ 5.29
小川 竜介 (〃 助手) 〃 ~ 5.31
梶本 宜永 (〃 〃) 〃 ~ 5.27
カナダ (エドモントン)

山元 章示 (内科学Ⅲ助手)
アメリカ (ガルベストーン) 5.18 ~ 6. 1

三牧 孝至 (小児科学講師) 5.22 ~ 5.30
名木田 章 (〃 学内講師) 5.20 ~ 5.29
アメリカ (フィラデルフィア)

高松 順太 (内科学Ⅰ講師)
アメリカ (ラスベガス) 6. 6 ~ 6.15

植林 勇 (放射線医学教授)
末吉 公三 (〃 講師)
カナダ (トロント) 6. 6 ~ 6.13

藤本 守 (生理学Ⅱ教授)
イスラエル (エルサレム) 6.12 ~ 6.19

赤尾 幸博 (解剖学Ⅰ助教授)
アメリカ (フレデリック) 6.18 ~ 6.28

高橋 宏明 (耳鼻咽喉科学教授)
トルコ (イスタンブール) 6.18 ~ 6.27

平田 一郎 (内科学Ⅱ講師)
ドイツ (エルランゲン) 6.24 ~ 7. 3

田窪 孝行 (病態検査学講師)
スウェーデン (ストックホルム)

6.25 ~ 6.30

西村 忠史 (小児科学助教授)

スウェーデン (ストックホルム)

6.28 ~ 7. 8

植野 洋志 (医化学助教授)

アメリカ (ウッズホール) 6.29 ~ 8.26

三牧 孝至 (小児科学講師)

ノルウェー (オスロ) 7. 2 ~ 7.10

岡村 武彦 (神経精神医学講師)

ノルウェー (オスロ) 7. 2 ~ 7.13

表 彰

平成5年度永年(20年)勤続者表彰 6.1

講 師 稲森 耕平 (麻 酔 科 学)

看護補助員 南部 豊子 (病院看護部)

課長補佐 安藤 陽子 (病院薬剤部
薬 剤 課)

〃 秋田 菊代 (病院薬剤部
薬品管理課)

事 務 員 小西喜美子 (病院事務部
医 事 課)

技術主任 菅野 寿香 (歯科・口腔外科)

助 手 宮崎 時子 (法 医 学)

技術主任 虎谷 一仁 (病 院
放 射 線 科)

技 術 員 足立 鈴代 (〃)

看護事務員 橋本千和子 (病院看護部)

教 授 藤本 守 (生理学Ⅱ)

技術主任 水岡 靖子 (病 院
中 央 検 査 部)

〃 佐竹まさ子 (〃)

〃 袖岡 秀幸 (病 院
放 射 線 科)

技 術 員 松井 暁美 (歯科・口腔外科)

〃 竹谷 忍 (病 院
中 央 検 査 部)

大阪府知事表彰

神経精神医学教室堺俊明教授は、多年にわたって警察行政に協力されたことに対する功績により、平成5年5月3日大阪府知事より表彰を受けられた。

本学前学長・名誉教授早石修先生の 勲一等瑞宝章受賞記念祝賀会開催

平成5年春の叙勲において、前学長・名誉教授早石修先生が勲一等瑞宝章を受賞されたことをお祝いし、祝賀会が去る7月3日(土)午後6時よりロイヤルホテル(大阪市)において、早石修先生ご夫妻をお迎えして、元外務大臣中山太郎氏、本学理事長、学長、仁泉会理事長その他関係者多数出席のもとに、盛大に開催された。

平成5年度臨床研修医(73名)

第 一 内 科 13・第 二 内 科 10

第 三 内 科 5・精 神・神 経 科 3

小 児 科 4・一 般・消 化 器 外 科 4

胸 部 外 科 1・脳 神 経 外 科 0

麻 酔 科 0・整 形 外 科 5

皮 膚 科 3・泌 尿 器 科 1

眼 科 3・耳 鼻 咽 喉 科 8

放 射 線 科 2・産 婦 人 科 3

歯 科・口 腔 外 科 5・形 成 外 科 2

中 央 検 査 部・病 態 検 査 学 1

平成4年度・収支決算

資金収支決算

(単位：千円)

収入の部				支出の部			
科目	平成4年度 決算額	平成4年度 予算額	増・減(△)	科目	平成4年度 決算額	平成4年度 予算額	増・減(△)
学生生徒等納付金収入	2,424,521	2,381,038	43,483	人件費支出	10,035,821	10,058,478	△ 22,657
手数料収入	58,087	60,605	△ 2,518	教育研究経費支出	10,422,673	9,345,768	1,076,905
医療収入	18,293,033	17,242,311	1,050,722	管理経費支出	838,519	752,909	85,610
寄付金収入	311,267	120,000	191,267	借入金等利息支出	204,676	209,306	△ 4,630
補助金収入	1,844,477	1,493,201	351,276	借入金等返済支出	1,353,703	1,325,903	27,800
資産運用収入	639,480	714,957	△ 75,477	施設関係支出	896,253	910,907	△ 14,654
資産売却収入	355	351	4	設備関係支出	836,711	875,337	△ 38,626
事業収入	107,620	112,256	△ 4,636	資産運用支出	645,021	346,092	298,929
雑収入	444,124	227,940	216,184	その他の支出	2,560,827	2,228,738	332,089
借入金等収入	989,600	989,600	0	予備費	—	300,000	△ 300,000
前受金収入	1,250,675	1,243,090	7,585	資金支出調整勘定	△ 3,243,771	△ 2,166,406	△ 1,077,365
その他収入	3,282,353	3,233,682	48,671	次年度繰越支払資金	6,238,716	4,748,390	1,490,326
資金収入調整勘定	△ 4,577,602	△ 4,379,590	△ 198,012				
前年度繰越支払資金	5,721,159	5,495,981	225,178				
収入の部合計	30,789,149	28,935,422	1,853,727	支出の部合計	30,789,149	28,935,422	1,853,727

消費収支決算

(単位：千円)

消費収入の部				消費支出の部			
科目	平成4年度 決算額	平成4年度 予算額	増・減(△)	科目	平成4年度 決算額	平成4年度 予算額	増・減(△)
学生生徒等納付金	2,424,521	2,381,038	43,483	人件費	10,431,724	10,360,973	70,751
手数料	58,087	60,605	△ 2,518	教育研究経費	11,597,328	10,516,387	1,080,941
医療収入	18,293,033	17,242,311	1,050,722	管理経費	888,003	802,468	85,535
寄付金	420,663	165,400	255,263	借入金等利息	204,676	209,306	△ 4,630
補助金	1,844,477	1,493,201	351,276	資産処分差額	37,017	35,486	1,531
資産運用収入	639,480	714,957	△ 75,477	徴収不能額	3,210	2,850	360
資産売却差額	3	0	3	予備費	—	300,000	△ 300,000
事業収入	107,620	112,256	△ 4,636	消費支出の部合計	23,161,958	22,227,470	934,488
雑収入	444,124	227,940	216,184				
帰属収入合計	24,232,008	22,397,708	1,834,300				
基本金組入額合計	△ 2,239,320	△ 1,817,089	△ 422,231	当年度消費支出超過額	1,169,270	1,646,851	
消費収入の部合計	21,992,688	20,580,619	1,412,069				

注：資金収支・消費収支両決算に共通する科目で決算額に差異のある科目については下記の理由による。

1. 「寄付金」には、資金収支決算上の寄付金のほかに、消費収支決算では現物寄付金が計上されている。
2. 「人件費」には、支払給与のほかに、資金収支決算では退職金支出額が計上されるのに対し、消費収支決算では退職給与引当金繰入額が計上されている。
3. 「教育研究経費」「管理経費」には、資金収支決算上の支払経費のほかに、消費収支決算ではそれぞれに減価償却額が計上されている。

平成5年度 科学研究費補助金交付内定一覧

(単位千円)

研究種目	研究課題	所属・職名	氏名	交付内定額
国際学術	アジアにおける蒙古系民族の分散と先史文化交流に関する日ロ共同研究	学 長	松本 秀雄	3,000
一般 (A)	低温乳酸リンゲル液灌流による選択的脳冷却の実験的研究	脳神経外科学 教授	太田 富雄	5,600
一般 (B)	腎尿管細胞内シグナル伝達機構の研究	生 理 学 II 授	藤本 守	700
〃	アミノ基転移酵素の基質認識と活性発現機構の理解をめざして	医 化 学 教授	鏡山 博行	1,500
〃	拡張型心筋症のウイルス病因にかんする研究 —In situ PCR 診断法を用いて—	内 科 学 III 授	河村慧四郎	3,400
一般 (C)	小児期の各種病態と活性酸素の係わりについて —特に新生児仮死とホモシチン尿症において—	小 児 科 学 手 助	萩原 享	200
〃	T ₁ 優位型バセドウ病の成因の研究および治療法の開発	内 科 学 I 師 講	高松 順太	500
〃	抗精子、抗ウイルス、抗寄生虫活性をもつゴシポールの作用機構の解明	医 化 学 助 教 授	植野 洋志	1,100
〃	精巣間細胞の前駆/幹細胞の同定	病 理 学 II 授 教	森 浩志	500
〃	安静時並びに運動負荷時における SPECT による換気・血流不均等分布に関する研究	放 射 線 医 学 教 授	榎林 勇	900
〃	脚延長術における骨格筋の伸長に関する実験的研究	整 形 外 科 学 講 師	森下 忍	500
〃	腎遠位尿管培養細胞に対する抗利尿ホルモン作用の分子機構	生 理 学 II 師 講	萩原 暢子	1,300
〃	凝固13因子と PGM1 酵素遺伝子の多型生成機構の解析	法 医 学 助 教 授	鈴木 広一	1,100
〃	単離大腸粘液細胞培養系を用いた粘液生成の生理的役割とその病態に関する検討	内 科 学 II 手 助	島本 史夫	800
〃	小児膠原病および血管炎症候群におけるフリーラジカルの関与についての検討	小 児 科 学 講 師	北川 真	1,100
〃	肺癌におけるコンピューテッド・ラジオグラフィの有用性の研究	放 射 線 医 学 講 師	清水 雅史	1,000
〃	肝阻血、敗血症による肝障害発生に関する研究	一般・消化器外科学 講 師	磯崎 博司	1,500
〃	腰部椎間板ヘルニアに対するレーザー治療；椎間板髄核蒸散法の基礎及び臨床研究	整 形 外 科 学 教 授	小野村敏信	700

研究種目	研 究 課 題	所 属 ・ 職 名	氏 名	交 付 内定額
一般 (C)	脊椎変形の病因と治療法に関する実験的研究	整 形 外 科 学 助 手	谷 田 泰 孝	1,000
〃	飼料の硬度がラット顎骨の成長発育におよぼす影響に関する実験的研究	口 腔 外 科 学 教 授	島 原 政 司	500
〃	PI アンカー型補体制御蛋白の癌化に伴う欠失の機序についての研究	病 態 検 査 学 助 手	畑 中 道 代	1,200
一般 (C) 萌芽的研究	活性酵素誘導性腸上皮イオン分泌における細胞内シグナル伝達機構に関する研究	小 児 科 学 学 内 講 師	玉 井 浩	1,400
奨励 (A)	現生霊長類における関節形状の3次元解析と中新世化石類人猿への応用	解 剖 学 I 手 助	中 務 真 人	800
〃	神経特異的新規細胞認識分子 BIG-1 及び BIG-2 の構造と機能の解析	生 化 学 講 師	吉 原 良 浩	900
〃	還元型ビオプテリン依存性 GTP シクロヒドロレース I フィードバック調節蛋白質の研究	医 化 学 助 手	畠 山 和 幸	1,100
〃	機能異常状態における下垂体前葉の分泌機構におけるクロモグラニンの役割	病 理 学 II 師 講	前 田 環	900
〃	神経芽細胞腫および小児白血病における Mn-SOD 増加の意義	小 児 科 学 助 手	川 村 尚 久	900
〃	精神分裂病候補遺伝子の分子生物学的研究	神 経 精 神 医 学 助 手	石 田 徹	800
〃	脳外科手術への応用を前提とした冷却乳酸リンゲル液による選択的脳冷却の実験的研究	I C U 助 手	坂 口 一 朗	900
〃	エンドセリンによる眼循環障害に対する各種薬剤の抑制効果の研究	眼 科 学 助 手	奥 英 弘	900
〃	芳香族 L-アミノ酸デカルボキシラーゼの構造と機能の解析	医 化 学 講 師	林 秀 行	900
奨励 (A) 萌芽的研究	ヒト血管内皮細胞を用いての脳腫瘍培養上清中の増殖因子の検討	脳 神 経 外 科 学 助 手	小 畑 仁 司	700
合 計	32件			38,300

次号「学報」について（お知らせ）

「大阪医科大学学報」は平成元年7月発刊以来、学事・人事・諸規程・その他を教職員に周知することを目的に発行してきました。この「学報」を次号から更に広範な学内情報を掲載する広報的内容を含めた新学報に移行することになりました。

また、本学学生父兄・卒業生各位にも「学報」を配布し本学の現況をお知らせする予定であります。

現在総務部に新学報発行準備委員会が設置されて、新学報発刊の準備をすすめています。

今後、掲載記事の取材等について教職員各位のご協力を願う次第であります。

新学報発行準備委員会

事務局長 辻 倉 忠 男

大阪医科大学学報 第17号

発行年月日 平成5年7月22日

発 行 学校法人 大阪医科大学

発行責任者 事務局長 辻 倉 忠 男

編集・発行 総 務 部 庶 務 課